

## ソウルは BPA に関して科学に耳を傾けている



[Steven Hentges, Ph.D](#)

2018 年 7 月 30 日(月) [SAFETY](#)

今度、皆さんが食料品店の缶詰食品の通路を歩く際に、缶のラベルをよく見てください。皆さんは恐らく製品が BPA フリーであることを示すロゴが書かれた缶をいくつか目にするでしょう。ラベルはそれが本当に何を意味するのかの情報を何も提供していないので、おそらく皆さんはそれが良いことに違いないと思込むでしょう。そうじゃなければ、なぜラベル表示するのでしょうか？

しかしソウル特別市保健環境研究院のように、皆さんは缶詰食品中の BPA については何も推測する必要はありません。ソウルの研究者等による[新しい研究では](#)、BPA 含有量が望ましいかどうかを調査する目的で、BPA が缶詰食品にどれだけ含まれているかをどのように測定したかについて説明しています。

研究者等は、ソウルの地元の店舗から 104 種類の缶詰飲料品を購入し、各製品中の BPA レベルを測定しました。驚くほどのことではありませんが、製品の多くで微量の BPA が検出されました。分析化学者がごく微量の BPA やその他注目したほぼ全ての物質を発見する技術がかなり上達したので、それだけではあまり意味はありません。

極微量の BPA の存在は、缶が BPA ベースのエポキシ樹脂で作られた保護コーティングを含むことを示しています。コーティングは金属腐食を防止し、内容物の安全性および完全性を守るのに役立ちます。それは確かに良いことです。この重要な食品安全用途に優れているため、エポキシ樹脂は何十年もの間保護コーティングとして使用されてきました。

韓国の食品消費パターンに基づいて BPA の一日摂取量を計算し、政府機関が設定した安全な摂取量と比較しました。研究者等は仮説ではなく科学的データを用いて、「*韓国人口の缶詰食品消費によるビスフェノール A 曝露のリスクは低い。*」と結論付けました。研究者等は、韓国の缶詰製品の BPA レベルが世界中の製品中の BPA レベルと同等であると報告しているため、この結論は他の場所でも適用可能であるはずで

この結論は BPA に関する総合的なリスク評価の結果、韓国食品医薬品安全処(MFDS)が[最近達した](#)結論とも一致しています。MFDS は次のように述べています。「(BPA の)食事暴露や統合曝露による一般韓国人への健康上の懸念はないとの結論に達しました。」

MFDS とソウルの研究者等は、米国食品医薬品局(FDA)の [CLARITY 研究](#)結果が入手可能になる前に、上記結論に達しています。BPA に関して前例のない範囲と規模で行われた CLARITY 研究は、BPA の安全性に関する残された不確実性を解決することを目指して FDA の研究所で上級科学者等が実施しました。FDA が行い、そして今年初めに発表されたその結果は、韓国での研究の結論が妥当であるという非常に強い確証を与えるものです。

それでは製品が BPA フリーであればいいのでしょうか？ 製品中に実際に何が含まれているかについて [BPA フリーのラベルは何も語っていない](#)ので、何とも言えません。ラベルは単に製品中に安全な何か(BPA)が含まれていないことを示しているだけです。BPA フリーラベルに意味のある情報がなければ製品に何が含まれていて、安全かどうかどうやったら分かるのかと言った疑問が生まれます。BPAフリーラベルは、その重要な疑問に答えるための情報を何も提供していません。